

消化器内科この一年

消化器内科医長 齊藤 裕樹

【はじめに】

平成21年度の臨床業務も大変忙しかった。しかし、外来や病棟にクラークの導入などのスタッフの増員により、我々医師一人に掛かる仕事量の負担が軽減されていることは実感しており、クラーク、クリニカルアシスタントの方々、その関係者の方々に大変感謝している。

【異動について】

平成21年度において当科の異動はなかった。ただし、大学医局の人事の状況が厳しい中、何とか消化器内科5人体制は維持されている。

【御礼】

現在の当科の診療は研修医なしでは進まないの
で、研修医の先生方のご協力に大変感謝している。

【おわりに（私事）】

これから消化器内科はどうか判らないが、とりあえず与えられた職責を全うできるよう心がけて仕事をしていくつもりである。

以下当科の平成21年1月から12月までの検査件数を挙げる。

○上部消化管内視鏡：	1879件
○上部治療内視鏡：	109件
○下部消化管内視鏡：	1202件
○内視鏡的大腸腫瘍切除術：	174件
○内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (碎石術、ドレナージ術を含む)：	301件
○胃瘻（造設＋交換）：	17件
○経皮経肝胆管ドレナージ（含交換）：	53件
○経皮経肝胆嚢ドレナージ（含交換）：	16件
○超音波内視鏡検査：	61件
○腹部血管造影（含治療）：	21件